

社会学部報

- ◇昭和45年11月25日 学部研究会 発表者 牧正英・遠藤惣一両助教授、共同研究「地方官庁における変動過程に関する調査研究」
- ◇12月9日 本出祐之教授就任歓迎会を兼ねて、社会学部教職員年末懇親会を開催。
- ◇12月18日 社会学部クリスマス礼拝を挙行、園田教会牧師佐藤慎二氏の「クリスマスの意義」と題する講話があった。
- ◇昭和46年1月18日 学内・学外より講師を招き3年度生を対象に就職ガイダンスを実施、約300名の出席者があった。
- ◇1月27日 学部研究会 発表者 岡村重夫教授「日本の老人家族同居の特色」、稲継尚助手「多元的社会における勢力の問題」
- ◇2月24日 学部研究会 発表者 西尾朗教授「英国における中国—18世紀文学に関する一考察—」、冷水豊助手「障害者差別と告発運動」
- ◇2月25日 倉田和四生助教授は関西学院大学より文学博士の学位を授与された。学位論文は「都市化の社会学」

会員の新著

- 丹羽春喜助教授「1956年中国産業連関表推計の概要」アジア経済研究所、昭和45年1月。
- 佐々木薫助教授 D・カートライト、A・ザンダー著「グループ・ダイナミックス」(第2版)Ⅱを三隅不二氏と共訳、誠信書房、昭和45年1月。八木晃監修・水原泰介編「講座 心理学」13(社会心理学)のうち「集団規範」を執筆、東大出版会、昭和46年1月。
- 嶋田津矢子教授 クラーク・ムスターカス著「個性と出会い」を嶋田啓一郎氏と共訳、ミネルヴァ書房、昭和45年4月。
- 船本弘毅宗教主事 J・マッコリー著「神とこの世」(現代神学の潮流第3巻)訳書、新教出版社、昭和46年2月。

学会消息

◇日本社会学会

昭和45年10月8、9両日、東京女子大学において、第43回大会が開催された。本学部からは、農山村の部会で、余田博通教授が司会者として活躍されたほか、産業・労働・職業の部会では、万成博、ブラウン大学 R. M. マーシュ両教授の『終身雇用制—役割行動、規範、価値』、牧正英、遠藤惣一両助教授の『地方官庁における変動過程に関する調査研究』の共同研究が発表された

。本大会のシンポジウムでは『現代日本の都市化と都市問題』『現代の青年問題』がとりあげられた。なお、第44回大会は昭和46年10月中旬本学で開催されるはこびとなった。

◇日本福音主義神学会

昭和45年11月23日に、創立大会が東京都富士見町教会において開催された。本学部からは春名純人講師が参加し、同学会宗教哲学部門で「カントの純粹理性の理想と自由主義神学の原理」と題する研究発表を行なった。

◇関西心理学会

- 昭和45年11月29日に、神戸大学教育学部において、第82回大会が開催された。本学部よりの参加は次の通りであった。(いずれも研究発表)
- 佐々木薫助教授「購買行動に関する社会心理学的研究(1) —100円石鹸の場合—」
- 田沢創君「親の養育態度に影響を及ぼす要因の検討」(田中国夫教授と共同発表)
- 山口真人君「訓練キャンプの集団力学的分析」(佐々木薫助教授と共同発表)